

本資料は、2026年7月9日（現地時間）、インド・ムンバイで発表されたプレスリリースの日本語訳です。
発表内容の詳細は原文をご覧ください。

URL: <https://www.tcs.com/investor-relations/financial-statements#year=2026-27&quarter=quarter1>

TCS、FY27を継続的な成長とともにスタート：AI変革案件を複数獲得

- 2027年度第1四半期の売上高：76億2,400万ドル、前年同期比2.7%増。前四半期比で横ばい、恒常通貨ベースで前四半期比0.4%増
- 2027年度第1四半期のAI関連売上高（年換算）：26億ドル、前四半期比13.6%増
- 営業利益率：24.0%*、純利益率：19.2%*
- 第1四半期の総契約額（TCV）：95億ドル
- AI主導の新規ビジネス変革案件を獲得：
 - SKF（スウェーデンの産業機器メーカー）との8億ドルの大型契約
 - ServiceNowとの数百万ドル規模の戦略的パートナーシップ契約
 - 欧州を拠点とするFortune Global 50企業との数百万ドル規模の契約

*一時的要因を除外

ムンバイ、2026年7月9日：ITサービス、コンサルティング、ビジネスソリューション企業であるタタコンサルタンシーサービシズ（TCS）は、IFRS（国際財務報告基準）に基づき、2026年6月30日を末日とする四半期の連結決算を発表しました。

2026年6月30日終了四半期のハイライト

- 売上高：76億2,400万ドル、前四半期比横ばい、前年同期比2.7%増
- 営業利益率：24.0%*
- 当期純利益：14億6,000万ドル*、純利益率：19.2%*
- 営業活動による純キャッシュフロー：13億1,000万ドル（当期純利益の93%）
- 総従業員数：59万3,798人、ITサービスの過去12カ月（LTM）の離職率：13.6%
- 1株当たり配当金：12ルピー（基準日は2026年7月15日、支払日は2026年7月31日）

*一時的要因を除外

TCS CEO（最高経営責任者）兼マネージングディレクターのK クリティヴァサン（K Krithivasan）は、次のように述べています。

「2027年度第1四半期は、地政学的リスクやマクロ経済上の逆風が続く中においても、当社の持続的な成長の勢いと戦略の有効性を示す結果となりました。当四半期の総契約額（TCV）は95億ドルと好調で、SKFとのAI主導型の大規模な変革案件をはじめとする大型案件を獲得したほか、幅広い顧客層で新規顧客の獲得を進めるとともに、AI関連事業の年間換算売上高は26億ドル規模へと拡大しました。お客さまがAI、モダナイゼーション、サイバーセキュリティ、ソブリンククラウド、プラットフォームの簡素化への投資を加速させる中、当社は高い案件獲得力、既存顧客との取引拡大、そしてエコシステム・パートナーとの連携強化を強みに、こうした市場機会を持続的な成長へと着実につなげていると考えています」

TCS エグゼクティブディレクター プレジデント兼COO（最高執行責任者）のアルティ・スブラマニアン（Aarthi Subramanian）は、次のように述べています。

「第1四半期は、複数のサービス分野で力強い成長を実現しました。当社は、AIを活用した業務の最適化と、イノベーションによる成果創出という二つの価値提供を軸に、AI主導の変革案件を複数獲得しました。これらの受注は、AIを活用した効率的なIT運用（ITOps）、ソフトウェアエンジニアリングおよびモダナイゼーションの迅速な推進、AIを前提とした業務プロセスの再設計、SaaSソリューションの導入、さらに自律型GBS（AIを活用して業務プロセスを自律的に運営・最適化するグローバル・ビジネス・サービス）の実現に向けた当社のアプローチが、お客さまから高く評価されていることを示しています。また、AnthropicおよびMistralと戦略的パートナーシップを締結し、AIエコシステムをさらに拡充しました」

TCS CFO（最高財務責任者）兼エグゼクティブディレクターのサミール・セクスリア（Samir Seksaria）は、次のように述べています。

「第1四半期には、年次昇給を実施するとともに、パートナー企業との連携を強化し、長期的な競争力向上に向けた重点投資を行いました。また、AIを活用したケイパビリティの強化に向けて、自社開発、買収、ならびにパートナーシップを組み合わせながら取り組みを進めるとともに、規律ある事業運営のもと、業界トップクラスの収益性と資本効率の維持に引き続き注力しています」

TCS CHRO（最高人事責任者）のスディープ・クヌマル（Sudeep Kunnumal）は、次のように述べています。

「当四半期には、世界中の全従業員を対象に年次昇給を実施するとともに、インドの新たな労働法（India Labour Code）の要件に合わせて給与制度の見直しを行いました。また、従業員が将来に向けて必要なスキルや能力を備えられるよう、AIインフラや次世代のスキル開発プラットフォームへの投資を継続しています。同時に、すべての従業員が安心して働き、尊重され、信頼され、成長に向けて主体的に挑戦できる職場環境の醸成にも引き続き取り組んでいます」

2027年度第1四半期の部門別ハイライト

産業分野別

産業分野	構成 (%)			Q-o-Q* CC***成長率 (%)	Y-o-Y** CC***成長率 (%)
	Q1 FY26	Q4 FY26	Q1 FY27		
銀行・金融・保険	32.0	31.6	32.1	1.6	2.4
消費者向けビジネス	15.6	15.7	15.0	-4.0	-1.2
ライフサイエンス&ヘルスケア	10.2	10.4	10.3	-1.0	3.5
製造	8.7	8.8	8.7	-0.5	2.9
テクノロジー&サービス	8.4	8.4	8.5	1.7	3.5
通信&メディア	5.8	5.8	5.8	0.3	1.4
エネルギー・資源・公共	5.9	6.3	6.3	-0.7	6.9
その他の産業分野	13.4	13.0	13.3	4.0	9.0
合計	100.0	100.0	100.0	0.4	3.2

*前期比

**前年比

***恒常通貨ベース

市場別

地域	構成 (%)			Q-o-Q* CC***成長率 (%)	Y-o-Y** CC***成長率 (%)
	Q1 FY26	Q4 FY26	Q1 FY27		
アメリカ					
北米	48.7	48.5	48.3	-0.4	2.0
ラテンアメリカ	1.9	1.9	2.0	0.6	-2.1
欧州					
英国	18.0	17.2	17.2	0.3	-0.6
欧州大陸	15.0	15.6	15.4	-0.2	4.3
アジア太平洋					
インド	5.8	6.0	6.2	7.6	22.9
中東・アフリカ					
中東・アフリカ	2.2	2.5	2.5	-1.8	7.6
合計	100.0	100.0	100.0	0.4	3.2

*前期比

**前年比

***恒常通貨ベース

主な契約案件

- SKF**より、インテリジェントなデジタル基盤を中核として同社の業務運営を再設計する、8億米ドル規模のグローバルAI主導変革案件を受注しました。本プロジェクトでは、AIを企業活動の「神経系」として位置づけ、断片化していた業務プロセス、データ、プラットフォームを統合し、自己学習型のオペレーション基盤を構築します。これにより、予測型の意思決定、自律的な最適化、および全社規模での俊敏性向上を実現します。この取り組みは、SKFのテクノロジー基盤全体をモダナイズし、同社を「AIファースト」の先進的な製造企業へと進化させるとともに、インフラ、アプリケーション、データ、およびグローバルネットワークを含むエンド・ツー・エンドのマネージドサービスを同社のグローバル事業全体に提供するものです。
- TCSとServiceNow**は、企業における大規模なAI導入の加速に向けて戦略的パートナーシップを強化しました。数百万ドル規模のパートナーシップ契約のもと、両社は共同で市場開拓（Go-to-Market）活動や新たなビジネス機会の創出に取り組み、事業成長と顧客価値の向上を推進します。
- TCSとABB**は、戦略的パートナーシップの締結から20周年を迎えるにあたり、新たに数百万ドル規模の「Future Network Model」プロジェクトを通じて、連携をさらに強化しました。今後5年間にわたり、AIを活用した本プログラムにより、インテリジェントな自動化、サイバー・レジリエンスの強化、および次世代マネージドサービスを通じて、ABBのグローバルネットワーク運用をモダナイズします。これにより、業務の俊敏性と事業継続性を向上させるとともに、ABBのデジタルトランスフォーメーション戦略の推進を支援します。
- Anthropic**と、企業におけるAI活用の拡大を支援するためのグローバル戦略的パートナーシップを発表しました。この提携の一環として、TCSは専任のビジネスユニットを設立し、顧客企業に対する高付加価値の提案、各業界向けの共同ソリューション、およびClaudeモデル群に関する高度なAI専門知識を提供します。また、Claudeへの早期アクセスを活用することで、企業によるAI主導の変革を加速し、さまざまな業界でさらなる事業価値の創出を支援します。さらに、全社的なライセンス契約を通じて、エンジニアリング、財務、法務、マーケティング、営業部門の従業員5万人にClaudeを展開します。

- Mistral**との画期的な戦略的パートナーシップを発表し、「**Mistral Forge**」を企業向けに提供する初のグローバルシステムインテグレーター（GSI）パートナーとなりました。Mistral Forgeは、企業が自社固有の知識や業務領域に特化したデータに基づいて最先端のAIモデルを構築できるよう支援する高度なシステムです。本提携では、Mistralの最先端AI技術と、TCSが持つ顧客企業への深い理解、業界知識、ならびに高度なエンジニアリング力を組み合わせることで、企業がより迅速かつ責任ある形でエンタープライズAIを大規模展開できるよう支援します。
- 企業によるAIネイティブなグローバルケイパビリティセンター（Global Capability Center：GCC）の設立を支援するとともに、既存のGCCを価値創出とイノベーションを中核としたオペレーティングモデルへと変革するため、新たな事業部門として**グローバルバリュー&イノベーションセンター（Global Value & Innovation Center：GVIC）**を発足しました。GVICは、企業によるAIネイティブなGCCの構築・拡大とAI主導の変革を支援し、GCCが成長とイノベーションを牽引する戦略的な企業資産へと進化する中で、さらなるビジネス価値の創出を後押しします。
- 欧州で**SovereignSecure Cloud™（ソブリンセキュアクラウド）**の提供を開始し、クラウドサービスのポートフォリオを拡充しました。本サービスは、ソブリンクラウドアーキテクチャとAI機能を組み合わせることで、政府機関、公共セクター、および規制の厳しい業界向けに、安全性とデータ主権に配慮したクラウド環境を提供します。
- Siemens Energy**および**Siemens Energy India**との覚書（MoU）を締結し、ITサービス、デジタルおよび産業向けAIイニシアチブ、データセンターなどの分野での戦略的協働を一層強化しました。本パートナーシップを通じて、エネルギー分野におけるイノベーションの創出、レジリエンスの向上、および持続可能な成長を推進します。
- Google Cloud**との戦略的パートナーシップを拡大し、企業によるAIネイティブな自律型オペレーティングモデルの導入を支援します。本協働を通じて、エージェント型AIおよび自律型AIシステムの導入・運用を支援し、複雑な業務プロセスやIT運用において、運用リスクや複雑性を増大させることなく、より迅速な意思決定を実現します。
- Tottenham Hotspur Football Club（トッテナム・ホットスパー・フットボール・クラブ）**と提携し、ファンエンゲージメント、業務運営、およびデジタルエコシステム全体にわたるデジタルトランスフォーメーションパートナーに選定されました。本提携により、同クラブが有する世界トップクラスのインフラをシームレスに連携したエコシステムへと進化させるとともに、業務運営やパフォーマンス分析におけるイノベーションを推進し、あらゆるプラットフォームにおいて、より直感的なユーザー体験の実現を支援します。
- Euroclear Group**との長年にわたるパートナーシップを拡大し、スウェーデンの中央証券保管機関（Central Securities Depository：CSD）の次なる変革フェーズを支援します。この取り組みの一環として、Euroclear Swedenは**TCS BaNCS™ for Market Infrastructure**および**Quartz™**を導入し、欧州市場の標準に準拠した、レジリエントで拡張性が高く、将来を見据えたCSDプラットフォームを構築します。
- Oracle**との協業を拡大し、AIを活用した企業変革の推進に向けて、インド初となるオラクルAIデータプラットフォーム・ラボ（Oracle AI Data Platform Lab）およびセンターオブエクセレンス（CoE）をコルカタに開設しました。今後は他の都市への展開も予定しています。
- Hager**より、AIを活用した大規模なエンジニアリングIT変革プロジェクトを受注しました。本プログラムでは、エンジニアリング、アプリケーション、エッジ、およびクラウドの各領域を横断するサービスモデルを構築します。業務プロセスにAIを組み込むことで、自律的に最適化を行うプラットフォーム、プロアクティブなサービスマネジメント、および拡張性の高いデジタル基盤を構築し、レジリエントなエンジニアリング業務の実現とイノベーションの促進を支援します。

リサーチ&イノベーション

2026年6月30日現在、TCSは当期に出願した**207件**を含め、**9,803件**の特許を出願中で、当四半期に取得した**170件**を含め、これまで**5,670件**の権利を取得しています。このうちAI関連の発明については、当四半期に出願した**163件**を含め累計**1,996件**の特許を出願中で、当四半期に取得した**29件**を含め、累計**602件**の権利を取得しています。

受賞歴

- **Google Cloud**より、「**2026 Google Cloud Partner of the Year Awards** (Google Cloudパートナー・オブ・ザ・イヤー2026)」において、AI、インフラストラクチャのモダナイゼーション、人材育成、マイグレーション、およびセキュリティの5部門で「**Partner of the Year** (パートナー・オブ・ザ・イヤー)」を受賞しました。
- TCSの従業員向け生成AI活用学習ソリューション「**Learning Coach** (ラーニングコーチ)」が評価され、CIO Magazineより「**CIO100 Award** (CIO100アワード)」を受賞しました。
- 小売店向けのAI活用keypabilityおよびサービスが高く評価され、**Everest Group**の「**Top 50™ Store Services Providers 2026** (2026年店舗サービスプロバイダー上位50社)」で首位に選出されました。
- グローバルなデジタルワークスペースアウトソーシングサービスにおける優れた実績が評価され、**Frost & Sullivan**より「**Company of the Year 2026** (カンパニー・オブ・ザ・イヤー2026)」を受賞しました。
- **Everest Group**の**PEAK Matrix®**レポートにおいて、銀行ITサービス、Google Cloudサービス、決済ITサービス、ServiceNowサービス、Veevaサービス、および損害保険 (Property and Casualty : P&C) ITサービス分野で「リーダー」に位置づけられました。
- 大規模な企業変革プログラムの提供における優れた実績が評価され、「**PegaWorld 2026** (ペガワールド2026)」において「**Partner of the Year** (パートナー・オブ・ザ・イヤー)」および「**Delivery Excellence Award** (デリバリー・エクセレンス・アワード)」を受賞しました。
- **ISG**より、半導体業界向けサービスおよびソリューションが評価され、「**ISG Provider Lens 2026** (ISGプロバイダー・レンズ2026)」で「リーダー」に認定されました。
- エンタープライズ向けITサービスおよびデジタルトランスフォーメーションの提供における優れた実績が評価され、**CRN Magazine**の「**Solution Provider 500 2026** (2026年ソリューションプロバイダー500社)」において、北米のテクノロジーソリューションプロバイダーの第2位に選出されました。
- **OpenText**、**Nutanix**、**Fivetran**、**Qlik**、**Confluent**、**HPE GreenLake**、および**Veeam**より、各地域において「**Systems Integrator Partner of the Year** (システムインテグレーター・パートナー・オブ・ザ・イヤー)」を受賞しました。
- Oracle環境向けのAIを活用した品質エンジニアリングおよび継続的テストソリューションの提供における優れた実績が評価され、「**Tricentis Partner Awards 2026** (トライセンティス・パートナー・アワード2026)」において「**AMS Oracle Growth Partner** (AMSオラクル・グロース・パートナー)」を受賞しました。
- 人を中心に据えたインクルーシブな職場環境づくりと従業員のウェルビーイング向上への取り組みが評価され、「**North America Inspiring Workplaces Awards 2026** (北米インスパイアリング・ワークプレイス・アワード2026)」において、「**Top 100 Inspiring Workplaces** (トップ100インスパイアリング・ワークプレイス)」、「Enterprise (エンタープライズ)」、「Wellness (ウェルネス)」、「Inclusion (インクルージョン)」の4部

門で表彰されました。

- 働きがいのある職場づくり、従業員からの信頼、およびサステナビリティへの取り組みが評価され、**Newsweek**による2026年の表彰で6つの賞を受賞し、優れた雇用主および責任あるグローバル企業としての地位を強化しました。

以上

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) について

タタコンサルタンシーサービシズ (TCS) は、世界のさまざまな業界を牽引する大手企業から選ばれるテクノロジーパートナーです。1968年の創業以来、イノベーション、卓越したエンジニアリング、そしてカスタマーサービスにおいて最高水準を追求してきました。

「世界最大のAI主導型テクノロジーサービス企業」への成長を掲げ、インフラからインテリジェンスに至るAIスタック全体にわたり、お客さまの変革を支援しています。

TCSはタタ・グループの伝統に根ざし、お客さま、投資家、従業員、そして広く社会に対して、長期的な価値を創造することに注力しています。56カ国に広がるハイスکیل人材と、世界194か所のサービスデリバリーセンターを擁し、世界各地でトップ・エンプロイヤーに認定されています。TCSは、新技術を迅速に適用し、大規模に展開する能力を活かしながら、お客さまとの長期的なパートナーシップを構築してきました。こうした関係の多くは数十年にわたり、1970年代のメインフレームから現在のAIに至るまで、あらゆる技術革新の波を共に乗り越えてきました。

TCSは、人々の健康の促進や持続可能な社会の実現、コミュニティのエンパワーメントを目的に、[TCSニューヨークシティマラソン](#)、[TCSロンドンマラソン](#)、[TCSシドニーマラソン](#)を含む、世界有数のマラソンおよび耐久レース14大会を支援しています。2026年3月31日を期末とする会計年度において、TCSの連結売上高は300億米ドルに達しました。

TCSの詳細については、www.tcs.comをご覧ください。